

令和2年7月吉日

【大会参加チーム様】

## 第7回日本少年野球紀州興紀大会参加について

協会長 笠松隆男

代表 尾崎 守

本大会にご参加いただき誠に有難うございます。  
新型コロナウイルス感染防止対策について、下記の事項を十分ご理解の上、対応していただきま  
すようお願いいたします。

別紙の連盟ガイドライン、支部ガイドラインに準拠してください。

### ○移動について

- ・ガイドラインにもありますが、移動車内は換気及び密にならないように配慮してください。
- ・会場到着は試合予定時間の1時間前とし、移動途中において渋滞及びその他トラブル等により、到着が遅れそうな場合は、下記球場担当責任者に連絡してください。

### ○提出書類について

- ・チーム代表者から「役員・選手登録書」「審査証」「メンバー表 5部」「**当日体温記録表**」を提出してください。提出するまでベンチ入りはできません。
- ・「**当日体温記録表**」は参加される全員記入(役員、指導者、選手、保護者:様式任意)してください。
- ・「役員・選手登録書」については、6/1に登録していただいておりますが、試合当日まで変更可能です。**変更した場合は試合会場到着後に毎試合1部提出ください。尚、第1日目に提出いただいた登録書から大会期間中の変更は認めません。**

### ○感染防止対策

- ・ベンチの消毒は球場担当チームで各試合前後に行いますが、自チームの道具等は各チームで都度消毒をお願いします。
- ・連盟及び支部ガイドラインに反する行為や態度には主催者(球場責任者)として、注意啓発を行います。  
但し、熱中症対策でマスク等外している場合は、会場から距離を取り、密を避け、その旨を球場担当チームにお伝えください。

### ○試合管理

- ・試合終了後はミーティングを行わず速やかに退場していただきます。

### ○宿泊

- ・本大会参加にあたり、宿泊を予定されているチームについては、宿泊先と新型コロナウイルス感染防止対策について十分協議し、ガイドランスに則った対応をお願いします。  
特に、部屋は密にならず、食事は個々に行えるよう配慮をお願いします。

以上

## 連盟主催大会 和歌山県支部予選における新型コロナウイルス感染防止遵守事項

### ・集合から出発まで

- ◎参加チームの全ての関係者は当日に検温の上体温を記録し、当日、大会本部に提出すること（様式は任意）。  
尚、発熱（37.5度以上）や咳の症状などの体調不良がある場合は参加を禁止とする。
- ◎試合当日から遡って約2週間の間でも発熱などの体調不良の有無をチーム内で事前確認を行い、該当者が居れば参加を認めない。
- ◎試合会場までの車の往復は換気をした状態にした上でマスクも着用すること。
- ◎自転車や徒歩の移動においても人と人との間隔を基本的には2m空けること。
- ◎手洗い用のハンドソープや消毒用のアルコール等は、各チームで必ず持参すること。

### ・会場到着、待機

- ◎試合開始の1時間前を目途で試合会場に到着すること。それ以上早くに集合しないこと。
- ◎2試合目以降のチームは到着しても、本部から呼ぶまでは野球場から離れて待機すること。
- ◎試合前後のチーム全員の挨拶はしない。到着後代表またはチーム責任者は役員・選手登録名簿とオーダー表及び審査証を球場責任者に提出すること。
- ◎会場に到着後も選手は可能な範囲でマスクを着用、定期的な手洗いやうがいを行うこと。
- ◎指導者、保護者はマスク着用し、定期的な手洗いやうがいを行うこと。

### ・接待チーム、運営及び審査

- ◎球場運営に当たって本部は基本屋外に設け、放送室等が屋内の場合は必要最低限度の人数とし、定期的に換気を行うこと。
- ◎試合運営は試合チームの球場責任者と一部の支部役員(3名)で一日運営を行う。
- ◎本部席、ベンチ、トイレに消毒液、または手洗い用ハンドソープを設置し、試合終了後、ベンチを消毒する。
- ◎運営委員は試合を行う各チーム代表となるが、チームと同じ集合時間とする。
- ◎本部と審判員へのお茶やコーヒー等は、チームのジャグを使用せずに個別ペットボトル、個別缶とし、クーラーボックス等から取り出す際には手指の消毒を行うこと。
- ◎昼食は運営委員となる各代表は各自持参またはチームで用意し、支部役員と審判員へは1箇所準備をして各自で取りに行くこと。
- ◎審査証は事前にチームから預かり、役員・選手登録名簿、オーダー表を照合すること。照合が終われば通常の選手を整理させての審査は行わず、道具審査のみとし、代表立ち合いの下審査をする。

### ・試合開始・試合中・試合終了

- ◎試合開始、終了の挨拶は声を出さず礼のみで行う。
- ◎打席、守備につくとき以外のベンチ内に於いては可能な限りマスク着用とする。
- ◎捕手は防具を自ら着用し、補助者を使わない。
- ◎審判はマスク着用し判定コールは大声を出さずにジェスチャーを大きく行ってジャッジングをする。
- ◎指導者、選手はベンチ内でも各自距離を取って試合を行うこと。
- ◎グラウンド内外においてメガホンの使用や大声での声援、ハイタッチなどの接触は禁止とする。
- ◎保護者等はマスクを着用して、出来る限り 2m 程度の距離を意識し、密集しないように観戦すること。  
声援等大声を出さずに見学を基本とすること。  
※マスクの着用は熱中症のリスクが高くなるため、時間を取るなど配慮する。

### ・試合終了後

- ◎試合終了後はミーティングを行わず、30分以内で速やかに会場から解散すること。